

**赤いルバーブ** (ルバーブ)

情報提供：長野県諏訪郡在住 K様 (66139) 2013年6月26日

天候不順で茎の成長が遅れましたが、スーパーERの使用により、その後の成長が驚くほど早くなり、収穫開始時期を大幅に早めることができました。

**特長**

- ルバーブは天候不順に強い植物ですが、移植直後の3～5月の冷害や渇水などにより、成長障害が起きてしまいました。しかし、その後の成長が驚くほど早く、分割移植初年度の収穫開始時期を大幅に早めることができました。
- 一株からの発芽が多く、成長が早かったので収量が多いように思います。
- 他の農園と比較して、葉の色が良く、艶もあり、全体的にイキイキしています。

**栽培地状況**

- 東に八ヶ岳連峰を望む入笠山山麓にあり、朝日を受け、午後の落日が早く、日照時間が少ないという条件がルバーブの栽培に適しています。
- 10年間、耕作放棄地だった畑を耕し、露地で3アール栽培しています。
- 無農薬で有機栽培をしています。

**施用状況** <2013年～> 3アール当たり

	日付	希釈倍率	施用量
土壤灌水	3月下旬	500倍	200ℓ
定植時期(株分)	4/ 6		
作物への散布	4/ 16	1000倍	200ℓ
	4/ 20		
	4/ 23		
	5/ 10		
収穫時期	6月中旬 ~		

**生産者の声**

- 天候不順に強いルバーブが成長障害になるような冷害や渇水でも、スーパーERを使うことで克服し、見事なルバーブができたことに驚いています。
- 10月頃までは収穫直後に次の芽が出て、一株あたり年2度(2本)収穫できますので、これまでの成長具合から収穫量はかなり多いと思います。
- 町の特産品として6年前から取り組んでいて、ヨーロッパでは「大人のジャム」として台所にある食材です。まだ広く知られていませんが、「酵素野菜・食材として、食卓に置いてもらいたい」です。

**◆ご使用にあたってのポイント**

- ・ 今回の結果はスーパーERを使用する事により、肥料の分解と植物の活性が促進され、栄養分の吸収力が高まったと考えられます。その為、好結果が出た後の土壤中の肥料分は多量に消費されておりますので、来年度の土壤への施肥は充分に行う必要があります。
- ・ スーパーERの過剰使用は一時的に良い結果が現れますが、後に何らかの弊害が出る可能性もありますので、施用方法に従い使用をしてください。
- ・ スーパーERの使用で、土壤の微生物の環境が整い、微生物が定着することにより、地温が上昇し作物の生長促進がみられる場合があります。
- ・ これらの現象は、農薬等の作用とは全く異なるもので土壤環境等の調整であり、スーパーERは農薬でも特定農薬でもありません。